

木材伐出業における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
5	14～15	皆伐現場（山林）で伐倒、玉切りの作業を行っていたとき、作業道上での玉切りが終わり、次の伐採木へ移動するため切土法面（高さ1.5m位、斜度40度程度）を、左手にチェーンソーを持ち上げる途中、左足に痛みを感じた。	45～9	1
6	9～10	最初の伐倒をしようと傾斜15°位の所のアカマツ立木（直径25cm、樹高15m）の伐倒作業に入り、受口を作り、追口を半分切り込みクサビを打ち込んだ後、反対側に回り、残りの追切をしようとチェーンソーを持ち上げた時にギックリ腰となり被災した。	57～9	1
9	14～15	私有林にて搬出間伐作業中に、使用していない控えワイヤーを回収し、中腰で引き寄せ作業をしていたところ、腰に激痛が走り負傷した。	35～29	10
9	9～10	山林で伐倒作業の移動中、段差を上がろうとして、腰を痛めた。	30～9	1
10	9～10	林内にて雪害での倒木（広葉樹）の玉切りを行っていた。作業中にバランスを崩し体勢を整えるため、左足を後方に動かし次に右足を後方に動かそうとしたが板に引っ掛かり動かされず、そのままの状態では倒れないように踏ん張った。右膝に負担がかかり右膝内側側副靭帯を断裂した。	50～29	10
11	11～12	被災者はフォワーダーで間伐場の運搬作業に従事していた。積載した丸太の安定を図る為、荷台上に材の固定器具を掛け出し土場まで運搬後、材を降ろす為、荷台積載上部に乗車して固定器具の取り外し作業後、収納するため車両フロント部より後向きで昇降用ステップ及びアングルに掴まりながらバンパー部に取り付けられているステップに	63～29	10

左足を乗せ、高さ50cm位の所より右足を着地させた際に、右足首アキレス腱を断裂した。

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html